

飲酒運転の代償

あなたの
デメリット

【社会的な制裁】

- ・会社の解雇、懲戒処分
- ・再就職難(運転免許がない)
- ・子どもや家族への影響、離婚問題

【経済的な制裁】

- ・刑事罰による罰金
- ・解雇や懲戒処分による収入減

注意!

飲んだ翌日の運転

体内でのアルコール処理速度は、体重1kgにつき1時間で0.1g、たとえばビール500mLには約20gの純アルコールが含まれ、その処理には体重60kgの人で最低でも3~4時間かかるといわれています。

飲みすぎると翌朝になっても処理しきれないアルコールが体内に残り、二日酔いの状態でハンドルを握れば飲酒運転となります。

これはあくまで目安で、睡眠時や体調不良時はさらに時間がかかります。

- ※ 純アルコール約20gを含む酒量の例
- ・日本酒1合
 - ・ワイン小グラス2杯(200mL)
 - ・ウイスキーダブル1杯 など

ハンドルキーパー運動



ハンドルキーパーとは、自動車で仲間と飲食店などに行く場合に、お酒を飲まないで仲間を自宅まで送り届ける人のことです。

今日のハンドルキーパーさんは?

見た。聞いた。飲酒運転に関する情報はお近くの警察署まで!

交通ルールを守って
つながる笑顔



飲酒運転撲滅

飲酒運転は絶対しない、させない、許さない。

飲酒運転は

厳罰

酒酔い運転

5年以下の懲役または100万円以下の罰金
免許取消 (35点: 欠格期間3年)

酒気帯び運転

3年以下の懲役または50万円以下の罰金
呼気中アルコール濃度 0.25mg/L以上
免許取消 (25点: 欠格期間2年)

呼気中アルコール濃度 0.15mg/L以上0.25mg/L未満
免許停止 (13点: 90日)

※注: 前歴及びその他累積点数がない場合

運転者以外にも厳しい罰則

飲ませちゃダメ!
酒類の提供
車両の提供
乗らせちゃダメ!

懲役または罰金に処せられます!

飲酒運転車両への
同乗
乗っちゃダメ!



25日 飲酒運転撲滅の日